



心臓財団 季報

No.198

● 財団法人日本心臓財団 ●

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル 835 区-A

○ Tel 03-3201-0810 ○ Fax 03-3213-3920 ○ e-mail:info@jhf.or.jp ○ http://www.jhf.or.jp/

February 10, 2010

第23回 日本心臓財団・バイエル薬品 海外留学助成対象研究者決定

日本心臓財団では日本循環器学会の後援のもとにバイエル薬品株式会社の協力を得て、循環器疾患の研究に携わる40歳未満の研究者が海外の研究機関に留学し、研究を行うための助成事業を実施しております。

23回目の今回は、全国より22名の応募申請があり、1月14日に当財団会議室で選考委員会が開かれ、下記の10名が選考されました。

贈呈式は来る3月7日、京都で開催される第74回日本循環器学会総会・学術集会(会長:北 徹 神戸市

立医療センター中央市民病院院長)時に行われます。助成金はそれぞれ300万円です。

選考委員(敬称略)

委員長	猿田 享 男	慶應義塾大学名誉教授
委員	笠貫 宏	早稲田大学理工学術院教授
(五十音順)	高野 照 夫	日本医科大学名誉教授
	西尾 一 郎	和歌山県立医科大学名誉教授
	横山 光 宏	兵庫県立淡路病院院長

助成対象者

(五十音順・敬称略・助成金額は各300万円)

番号	氏名	所 属	研 究 課 題	留 学 先
1	梅村 将就 (35歳)	横浜船員保険病院 内科 医長	アデニル酸シクラーゼを標的とした心不全メカニズムの解明及び新規心不全治療薬の開発	ニュージャージー州立 医科歯科大学分子細胞生物学 部門心臓血管研究所(米国)
2	海野 一雅 (36歳)	名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学 客員研究員	ES/iPS細胞由来心筋前駆細胞を用いた 心血管再生療法の開発析	ハーバード大学ブリガムアンド ウィメンズ病院心臓血管部門 心筋研究室(米国)
3	沖 健司 (33歳)	広島大学大学院医歯薬学総合研究科 分子内科学 大学院生	原発性アルドステロン症における miRNAの役割	ミシシッピ医科大学 内分泌研究室 (米国)
4	笠井 高士 (35歳)	京都府立医科大学大学院医学研究科 神経内科学 助教	プロテオミクスの手法を用いたtPA静注 療法による神経機能改善機序の網羅的 解析	ランカスター大学生物医学・ 生命科学部門 (英国)
5	佐々木 英之 (35歳)	国立循環器病センター研究所 循環動態機能部 研究員	環状GMP-PKG経路を介した新しい不 全心筋保護作用機序の解明とその治療 への応用	ジョンズ・ホプキンス大学 医学研究所 (米国)
6	篠原 充 (29歳)	大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 大学院生	アルツハイマー病原因物質Aβの代謝制御 における血管因子の役割の解明	ワシントン大学医学部小児細胞 生物生理学 (米国)
7	都島 健介 (38歳)	東京大学医学部附属病院 循環器内科 助教	不全心筋における代謝リモデリングの分子 機序および生理学的な意義についての 検討	ユタ大学医学部 内分泌代謝部門 (米国)
8	内藤 広太郎 (33歳)	埼玉病院 循環器科 医員	心不全における炎症・免疫応答の役割や メカニズムの解明と新たな治療法の開発	トロント大学ジェネラル病院 (カナダ)
9	中村 太志 (35歳)	熊本大学大学院医学薬学研究部 生体機能薬理学 大学院生	左室拡張不全における内皮型NO合成酵 素機能の役割とその分子機序の解明	ジョンズ・ホプキンス大学 医学研究所 循環器科(米国)
10	門田 欣也 (35歳)	広島赤十字・原爆病院 循環器科 医師	心筋梗塞後リモデリングにおける心筋 オートファジーの果たす役割とメカニズム の解明	ニュージャージー州立 医科歯科大学 (米国)

第74回日本循環器学会総会・学術集会「市民公開講座」 自分でできる心筋梗塞、脳梗塞の予防!～専門家に聞く生活習慣病対策の秘訣～

- 日 時：2010年3月7日(日)14:00～16:30
- 会 場：KBS ホール
京都市上京区烏丸上長者町
KBS 京都放送会館 1F
- 主 催：第74回日本循環器学会総会・学術集会、
日本心臓財団、朝日新聞社
- 後 援：京都府、京都市、日本医師会、京都府医師会
- 協 賛：第一三共株式会社
- 参加費：無料(募集定員：700名。お申込み先着順。)

● プログラム

開会挨拶

北 徹

(第74回日本循環器学会総会・学術集会 会長/
神戸市立医療センター中央市民病院 院長)

講演 1

「生活習慣の改善による心筋梗塞、脳梗塞の予防」

上島 弘嗣

(滋賀医科大学 生活習慣病予防センター 特任教授)

講演 2

「メタボの本質を知って効率のよい対策を」

松澤 佑次

(大阪大学 名誉教授/財団法人住友病院 院長)

講演 3

「高血圧から身を守ろう」

島本 和明

(札幌医科大学医学部 内科学第二講座 教授)

講演 4

「脳梗塞は怖くない!？」

松本 昌泰

(広島大学大学院 病態探求医科学講座 脳神経内科学 教授)

パネルディスカッション

「自分でできる心筋梗塞、脳梗塞の予防」

コーディネーター：北 徹(神戸市立医療センター中央市民
病院 院長)

パネリスト：尾池 和夫(第24代京都大学総長/
財団法人国際高等研究所 所長)

上島 弘嗣、松澤 佑次、島本 和明、

松本 昌泰

- 申込は2月12日で締め切らせていただきました。

● 問い合わせ先

〒105-0004

東京都港区新橋 2-20 新橋駅前ビル 1号館 9階

株式会社協和企画内

「第74回日本循環器学会市民公開講座」事務局 A 係

Tel: 03-3573-2066

● 日本循環器学会関連市民公開講座(同時開催) ●

第8回心肺蘇生法市民公開講座 「だれでもできる蘇生法、 大切な命を救う AED」

- 日 時：2010年3月6日(土)14:00～16:00
- 会 場：KBSホール
京都市上京区烏丸上長者町
KBS 京都放送会館 1F
- 参加費：無料(募集定員：100名。お申込み先着順。)

● プログラム

司会：西尾 亮介(京都大学医学部附属病院救急部)

1 「私たち市民のだれでもできる蘇生法：
大切な人を助けよう」

野々木 宏(国立循環器病センター心臓血管内科)

2 「あのピッチャーを救え～

高校野球・もう一つのドラマ -AEDで甦った大切な命-

上野 貴寛(元高校野球部員、現大学生)

3 「AEDを含む簡易心肺蘇生法講習」

講習参加者には、講習に使用する心肺蘇生練習
キットを進呈します。

第8回禁煙推進のための市民公開講座 「生き方上手：絶対 禁煙！」

- 日 時：2010年3月6日(土)14:00～16:00
- 会 場：京都産業会館シルクホール
京都市下京区四条通室町東入
きらっ都プラザ京都産業会館内
- 参加費：無料(募集定員：700名。お申込み先着順。)

● プログラム

座長：朔 啓二郎(福岡大学心臓・血管内科学)
室原 豊明(名古屋大学循環器内科)

1 「喫煙がもたらす健康被害と治療の実際」

飯田 真美(JA岐阜厚生連中濃厚生病院)

2 「禁煙体操：すわん君と一緒にスワンデクササイズ」

森山 暎子(スタジオPARADISO)

3 「今伝えたい大切なこと：禁煙と世界の平和」

日野原 重明(聖路加国際病院)

4 総合討論「禁煙社会を作るため、私たちができること」

● 関連市民公開講座「心肺蘇生法」「禁煙」のお申込み方法 ●

住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、下記までハガキ、FAX、メールにて2月28日(日) 必着でお申込みください。1通で複数名お申込みの場合はお連れ様のお名前もご記入ください。事前に招待状をお送りします。

〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7 京阪神不動産淀屋橋ビル2F 日本コンベンションサービス株式会社 関西支社

第8回「心肺蘇生法」は「日本循環器学会S係」宛

第8回「禁煙推進」は「日本循環器学会K係」宛

■FAX：06-6221-5938(お問合せのみ/Tel：06-6209-0343) ■Eメール：jcs2010-shimin@convention.co.jp

生活習慣病改善プログラム実施における中間報告

日本心臓財団では、インターネットを利用した医師向け「生活習慣病改善プログラム」を企画・運営しています。これは、高血圧・脂質異常症・糖尿病など生活習慣病治療を実施している医師のための、患者さんとの治療のコミュニケーションをスムーズにする、インターネット上のプログラムです。

各ガイドラインに沿った管理目標値を定め、食事や運動など患者さんの生活習慣の情報を医師と患者さんと共有しながら、治療に関するモチベーションの向上を目指します。さらに、匿名化した上でデータを収集し、日本の生活習慣病治療の実態を疫学データとして発表する予定であります。

1月26日現在、参加登録医師数583名、登録症例数2,233例となっています。

昨年秋に、本プログラムに登録された1,546例について、分析しましたところ、高血圧症1,175例(76%)、脂質異常症827例(53%)、糖尿病491例(32%)でした。罹患している生活習慣病が1つのみであったのは、高血圧368例(24%)、脂質異常症105例(7%)、糖尿病37例(2%)で、残りの67%は複数の生活習慣病を合併していました。

本プログラムの解析の方向性を探るため、京都大学病院で本プログラムに登録し1年間フォローした88例(高血圧83例、脂質異常症45例、糖尿病15例)について、

生活習慣病改善が管理目標達成率に与える影響を検討してみました。

生活習慣の中で、とくに改善に取り組みやすい「食事の味付け」と「歩行習慣」に関する設問で改善が認められた群と、改善が認められなかった群に分け、降圧目標達成率と血圧値の変化を比較したところ、非改善群では降圧目標達成率が悪化し、平均血圧値が上昇したのに対し(有意差なし)、改善群では降圧目標達成率が上昇し(有意差なし)、平均血圧値は有意に低下しました。

これはあくまで少数例での暫定的な解析ですが、今後多くの症例が蓄積されれば、各生活習慣病の治療目標達成率と生活習慣の関係や、生活習慣の改善と予後の関係などが明らかになる可能性等、大きな成果が期待されます。

● 評価アンケート項目

- 「食事の味付けが薄くなった」
- 「初診時と比べて歩くようになった」
- 「1日60分(6,000歩)以上、歩くようになった」

● 非改善群

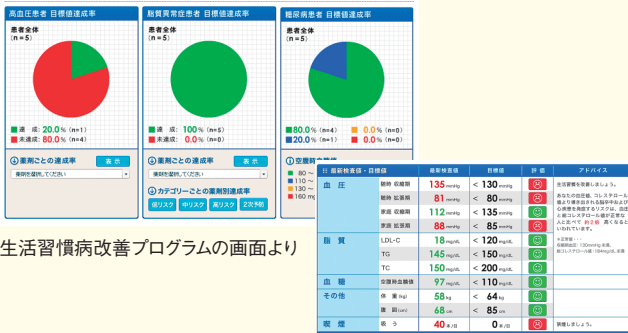
	ベースラインでの 目標達成率	直近での 目標達成率	有意差
高血圧患者数	24/48 (50.0%)	16/44(36.4%)	n.s.
平均血圧値	135/80mmHg	137/77mmHg	n.s.

● 改善群

(評価アンケート項目中いずれか1つ以上が改善)

	ベースラインでの 目標達成率	直近での 目標達成率	有意差
高血圧患者数	14/35 (40.0%)	20/35 (57.1%)	n.s.
平均血圧値	139/78mmHg	130/73mmHg	<0.05

目標達成率



* このプログラムに参加希望の医師は、日本心臓財団のホームページ <http://www.jhf.or.jp/>の「生活習慣病改善プログラム」ボタンから登録し、ID、パスワードを取得すれば簡単にログインすることができます。医師の方々は、ぜひともご参加いただけますと幸いです。

ご支援ありがとうございます

当財団の賛助会にご協力いただいている企業・団体一覧

心臓病、脳卒中など循環器疾患の予防制圧をめざす日本心臓財団の事業の維持と発展にご協力下さるため賛助会にご加入いただき、ご支援を賜っております企業・団体は下記のとおりです。 (今年度分：五十音順)

(株)アクセル	興和創薬(株)	大鵬薬品工業(株)	日本光電工業(株)	三菱アルミニウム(株)
旭化成ファーマ(株)	サノフィ・アベンティス(株)	武田薬品工業(株)	日本心臓ベースメーカー友の会	三菱地所(株)
アステラス製薬(株)	(株)産経新聞社	田辺三菱製薬(株)	日本新薬(株)	(株)三菱総合研究所
アポットバスキュージャパン(株)	(株)JTB 法人東京	中外製薬(株)	日本製紙(株)	三菱電線工業(株)
宇部三菱セメント(株)	塩野義製薬(株)	帝人ファーマ(株)	日本ペーリンゲインゲルハイム(株)	三菱マテリアル(株)
エーザイ(株)	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)	テルモ(株)	日本メドトロニック(株)	三菱UFJ信託銀行(株)
大塚製薬(株)	(株)スズケン	トーアエイヨー(株)	ノバルティスファーマ(株)	持田製薬(株)
小野薬品工業(株)	(株)世界貿易センタービルディング	東京海上日動火災保険(株)	バイエル薬品(株)	ユフ精器(株)
オムロンヘルスケア(株)	ゼリア新薬工業(株)	東京電力(株)	万有製薬(株)	
関西電力(株)	セント・ジュード・メディカル(株)	東芝メディカルシステムズ(株)	ファイザー(株)	
救心製薬(株)	第一三共(株)	鳥居薬品(株)	フクダ電子(株)	
杏林製薬(株)	大正製薬(株)	(株)日清製粉グループ本社	ブルーミング中西(株)	
(株)協和企画	大日本住友製薬(株)	(社)日本医師会	ボストン・サイエンティフィックジャパン(株)	
協和醗酵キリン(株)	太平洋セメント(株)	日本軽金属(株)	(株)三井住友銀行	

当財団へのご寄付

次の方からご寄付を頂戴しました。ここにご芳名を記して感謝の意を表します。

(2009年11月1日～2010年1月31日)

松井 義明・美恵子様	奈良県北葛城郡	12,000 円
匿名		10,333 円
匿名		20,000 円
柳林 あさ 様	茨城県水戸市	10,000 円
檜山 堅二 様	茨城県水戸市	10,000 円
加藤 正明 様	愛知県名古屋	55,000 円
鈴木 啓太 様	埼玉県さいたま市	200,000 円
小堀 治樹 様		60,000 円
株式会社東横イン 様		100,000 円
匿名		16,333 円
匿名		2,000 円
小沢 良男 様	埼玉県さいたま市	20,000 円
田上 一徳 様	茨城県水戸市	50,000 円
匿名		9,333 円

当財団をご支援下さる方

本年度もご支援をいただいた方のご芳名を掲載します。

(2009年11月1日～2010年1月31日)

河北成一 様	田上慶子 様	土居義典 様
平井忠和 様	武者春樹 様	

●心臓財団からのお願い●

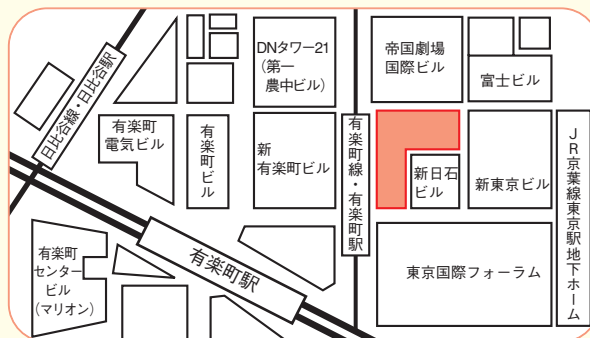
～ご寄付ならびに賛助会ご加入～

当財団が循環器疾患の予防・制圧事業を展開するうえで、その多くは寄付金ならびに賛助会費により支えられております。あなたのまわりの方にもぜひ呼びかけてください。

ご寄付はいくらでも受けさせていただいております。当財団は「特定公益増進法人」として認可を受けておりますので、税制上の優遇措置が講じられております。

ご支援いただける場合は、下記の口座をご利用ください。

ゆうちょ銀行一般振替口座 00140-3-173597
宛て先 財団法人日本心臓財団



●お近くにお越しの際はお立ち寄り下さい。●